

百十機関)はすべて動員されている。テレビコマーションで投票を呼びかければ沖繩に二紙ある有力新聞でも連日、投票へ行こうキャンペーンが大々的に行われるといった調子で、沖繩では県庁もマスコミも挙げて県民投票以外には仕事はないようなありさまだった。

ところがこうした官民挙げての大キャンペーンにもかかわらず、沖繩県民の反応はいまひとつであった。八月月上旬に県が実施した有権者二千名を対象にした電話アンケートでは、県民投票が実施されることをよく知っている有権者は五五・二パーセント、投票日がいつか知っているのは四五・一パーセントにしか過ぎなかった。

「県民投票のことを知らない県民なんていませんよ。このアンケート調査の結果は、要するに拒否反応なんですよ」

と地元紙の記者は語る。

「マスコミの人間からいわせれば、何回も世論調査をやっている。その結果当然のごとく『地位協定の見直し』『基地の整理縮小』が圧倒的多数です。世論調査の結果は信用できないのか。また、昨年十月二十一日に行われた県民総決起集会でも、参加者全員で同じ主旨のことが決議された、あれ

は何だったのか。今年の一月五日の臨時県議会で、自民党も含めた全会一致で、地位協定の見直し、基地の整理縮小が決議されています。県議会は県民の意思を代弁するところだと思おうのですが、完全に軽視されましたね」

つまり、県民投票で問われる『地位協定の見直しと基地の整理縮小』は、いままら賛否を問うまでもなく、県民のほとんどがすでに賛成の意思表示をすませた問題だといふのである。それを改めて県民投票という形で、県議会選挙並みの四億八千万円の費用をかけて意見を集約しようというのは、その目的以外の何らかの政治的意図があるのではないかという疑念を少なからぬ県民が抱き、うさんくさいものは拒絶しようとする姿勢の表れだったのではないかと、この記者は分析する。

県民による県民投票への批判

県民の中にもこの投票を疑問視する人が少なくない。「県民投票は、日米地位協定の見直しを問うていますが、それでは沖繩県民のどれだけが、その中身を知っているでしょうか。

「県民投票で問われていることはあいまいです。基地の整理縮小は結構なことだと思いますが、それでは五〇パーセントになればいいのか、三〇パーセントになればいいのか、どの基地が整理縮小の対象になるのかまったくわからない。県のアクションプログラム(県が独自に作成した基地返還の道筋を示した目標)に基づく整理縮小なのかも明示されていない、それがはっきりしないと私たち地主は意思の表明のしようがありません。

県民投票条例の第十五条には、『県民の自由な意思が拘束され、若しくは不当に干渉され、又は県民の平穏な生活環境が侵害されるものであってはならない』となっていますが、賛成(を呼びかける)運動ばかりが展開されています。必ず投票してくださいというのなら当然ですが、マスコミを

含めて必ず賛成に投票してくださいといっています。私たちにはよくわからないから、県民投票については静観する方針です」

県民投票は、いうまでもなく大田知事はじめ革新陣営が推進しているのだが、その革新サイドからも批判の声が上がっているところの問題の深刻さがある。

神山操元全駐労委員長は、「私は労働運動を長いことやって来ましたが、つねに運動論を重視してきました。そういう目で見ると今回の県民投票に疑問を感じざるを得ません。昨年九月の少女暴行事件以来、県民の間に基地問題を考える動きが一気に盛り上がり、県民大会、県議会の全会一致の決議など、県民全体で運動が進められてきました。ところが県民投票で、自民党が反対するなど県民世論が割れてしまいました。県民投票はやり過ぎだ

ったのではないのでしょうか。それに県はアクションプログラムで二〇一五年までの基地使用地の全面返還を求めています。これも現実的ではありません。このような無理な計画に対して、若い世代は不安を持っています。今五十代以上の人とそれ以下の世代では基地の問題に対して、大きな認識の差があるのです。ですから今回の投票ももしかしたら非常に低い投票率になるかもしれません。五〇パーセントが目安になるでしょう。もし五〇パーセントを割ったら県民投票は失敗だったということになります。私はその可能性もかなり高いのではないかと思っています」と話した。神山は、基地従業員で組織する全駐労の委員長を長いこと務め、県労協

私の周りの人に聞いても、誰も知りませんが、彼も知りませんでした。内容を知らないまま、どうしてその見直しをしろうといえるのでしょうか(具志頭村役場関係者)

日米地位協定については、こう指摘する人が多かった。そういえば、米兵の重罪犯容疑者を起訴前に日本側の捜査当局に引き渡すという条項の運用こそ、昨年の少女暴行事件で有名になり人々の知るところとなったが、それ以外の条項についてよく知る人は極めて少ない。

軍用地等地主会連合会(土地連)の砂川直義事務局長もこういっていた。

委員長の、連合沖繩会長を歴任した沖繩革新陣営の重鎮の一人である。

全国的にビジネス絶好調。



きめ細かなサービスとゆとりあるお部屋、大いなるくつろぎ。出張でのご宿泊は、ビジネスが波に乗るビューホテルズです。ビューホテルズのビジネススパック

- 秋田ビューホテル
お1人様10,000円(1泊朝食付、税別・サービス)
- 平ビューホテル
お1人様6,900円(1泊朝食付、税別・サービス)
- 福島ビューホテル
お1人様8,500円(1泊朝食付、税別・サービス)
- 郡山ビューホテル
お1人様8,200円(1泊朝食付、税別・サービス)
- 高崎ビューホテル
お1人様9,300円(1泊朝食付、税別・サービス)
- 岡山ビューホテル
お1人様8,400円(1泊朝食付、税別・サービス)
- 福岡ビューホテル
お1人様9,500円(1泊朝食付、税別・サービス)

●お部屋はシングルルームをご利用いただけます。

ビューホテルズ

浅草ビューホテルをはじめ、国内に、海外に、18ホテル。

予約センター ☎4890

- 東京.....☎(03)5828-4890
- 大阪.....☎(06)201-4890
- 名古屋.....☎(052)582-4890
- 仙台.....☎(022)263-4890

1972年・岩手生まれ。

紫蘇せんべい

三種類詰め合わせ

岩手の特産品コンクール
昭和48年金賞
全国菓子博
昭和52年名譽金賞

〒028-31
岩手県奥州市大町好地3-85-1
岩手阿波製菓(株)
Phone 0198(45)4880(代)
Fax 0198(45)4887

芽吹き屋